

ナチュレ

AK NATURE

ラフィナート

raffinto

共通

アウトセットハンガー

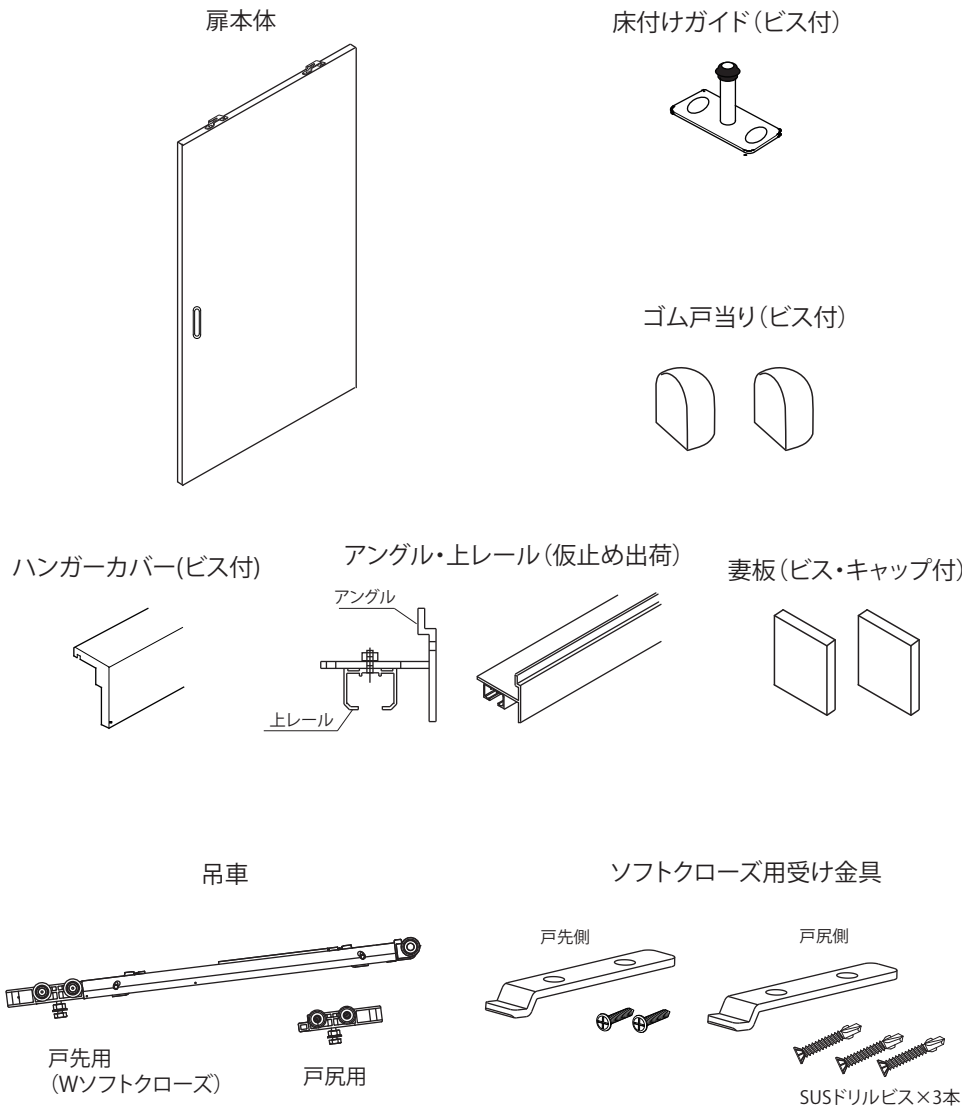
このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

!

施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

	梱包内容
扉	扉本体
	床付けガイド(ビス付)
	ゴム戸当り(ビス付)
部品 梱包	ハンガーカバー(ビス付)
	上レール
	妻板(ビス・キャップ付)
	吊車(戸先用・戸尻用)
	ソフトクローズ用受け金具

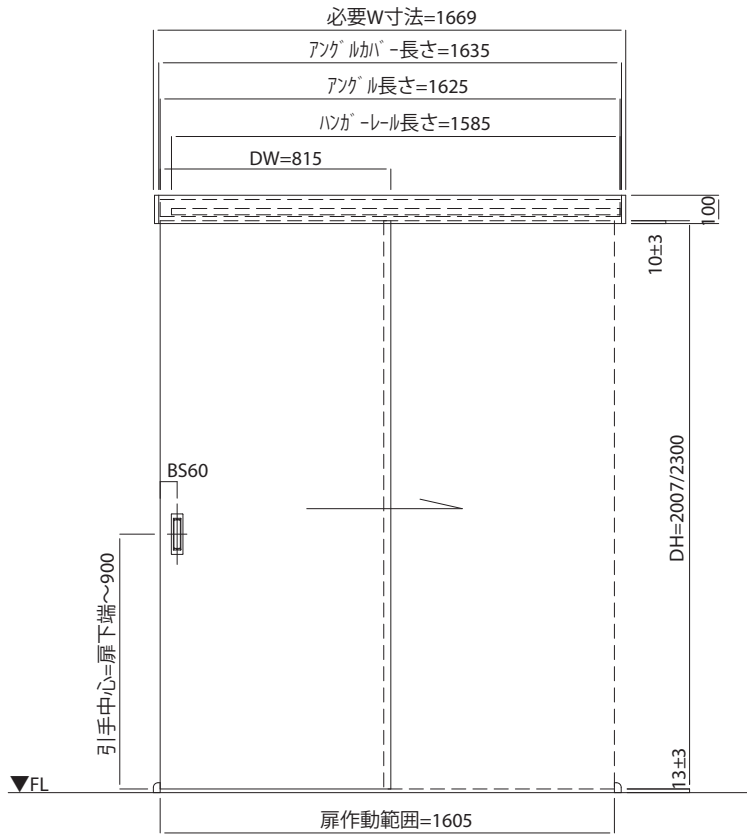


納まり図

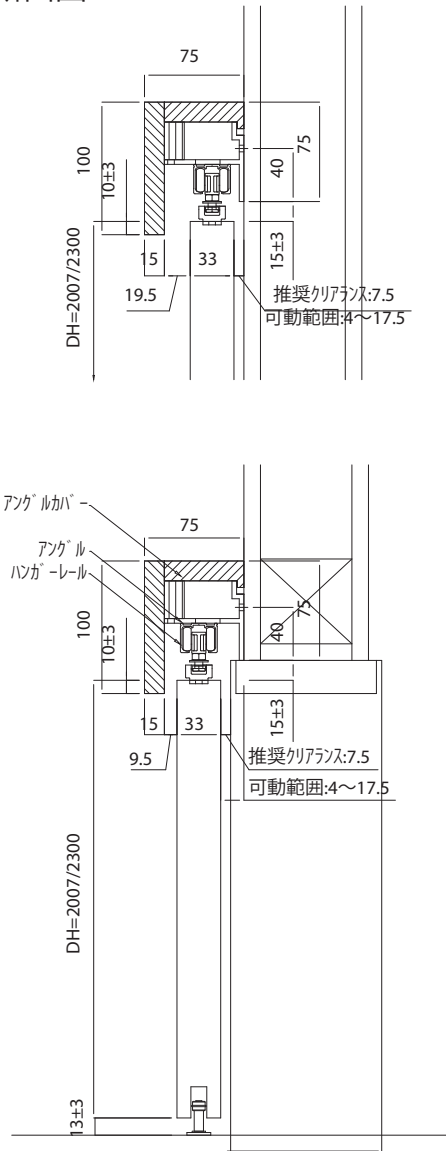
サイズ

シリーズ	DW	DH
AK NATURE	815	2007
raffinato		2007/2300

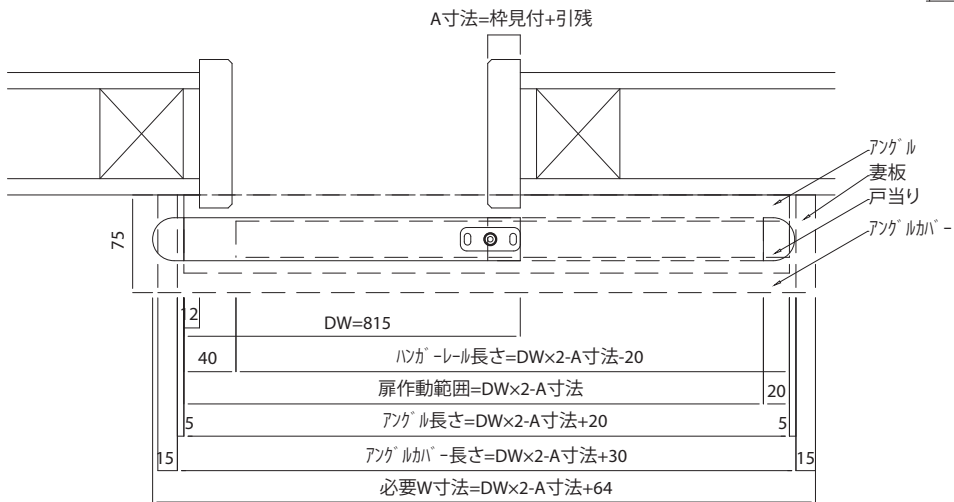
姿図



縦断面図



横断面図



1. 部品の取付け

《上レールと吊車の取付け》 **注意** ハンガーベースレールを壁に取り付けるため、壁下地の補強をあらかじめ行ってください。

①上レールに吊車を挿入し、アングルを壁に取り付けてください。

- ◆上レール
- ◆吊車

※アングルと上レールは
工場で仮止出荷します。

②アングルをビスで壁に取り付けてください。

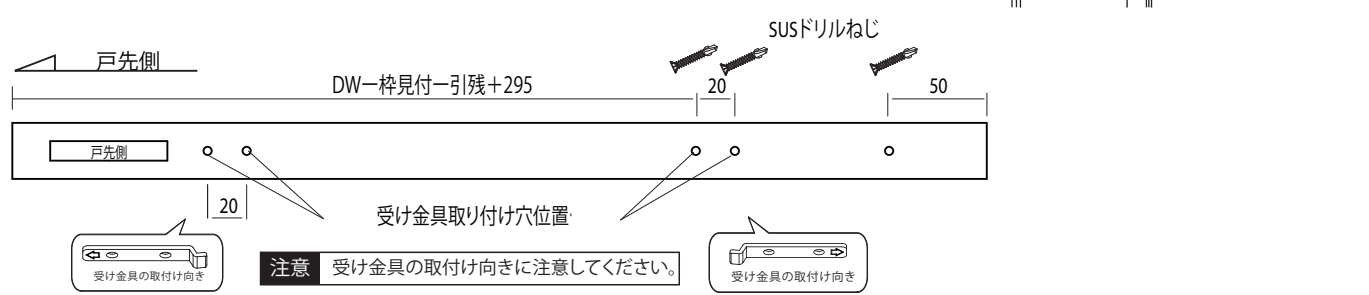
- ◆アングル取付ビス トラスタッピンねじ 4×50

③仮止めしてあるアングルとレールを本固定してください。
レール戸尻側のリード穴はSUSドリルねじで固定してください。

④ソフトクローズ用受け金具をレールに固定してください。

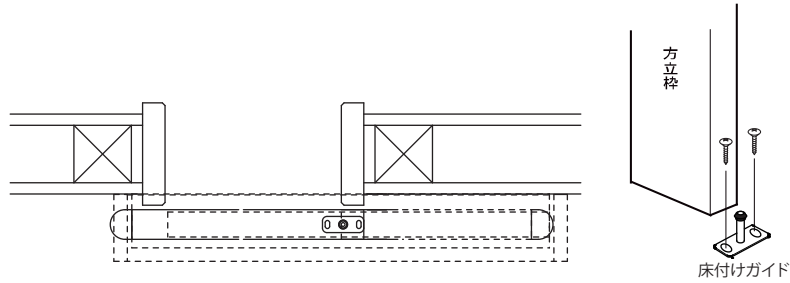
- 付属のビスをご使用ください。
- 戸尻側はSUSドリルねじをご使用ください。

- ◆ソフトクローズ用受け金具



《床付けガイドの取付け》

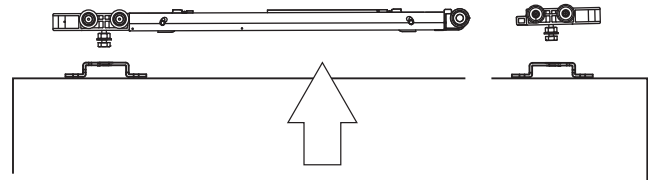
①床付けガイドをフロアーにビス止めしてください。



2. 扉の吊込み

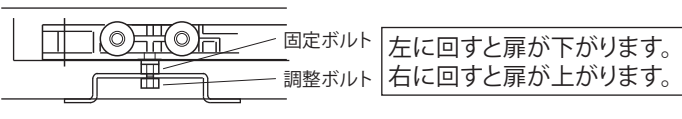
《吊込み》

①扉を吊り込んでください。
まず、床付けガイドに扉の下溝を合わせてください。
次に、扉上部に付いたハンガープレートに吊車を差し込み、ボルトを締めて固定してください。



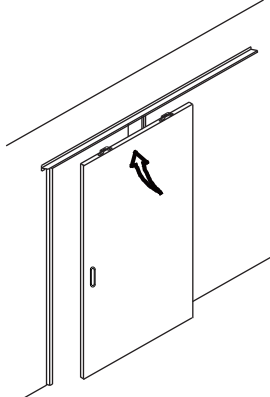
《調整》

①必要に応じて、扉の高さ調整を行ってください。



注意 高さ調整後、必ず固定ボルトをしっかりと締めてください。扉の落下に繋がります。

ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認してください。正常に作動しない場合は扉をカチッというまで閉じ、再度確認してください。



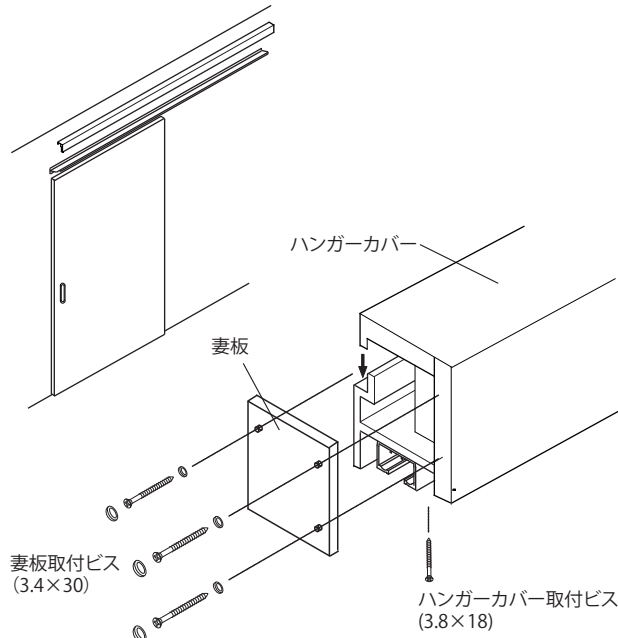
3. 部品の取付け

《ハンガーカバー・妻板の取付け》

①ハンガーカバーを上レールに乗せてください。

②妻板をハンガーカバーにビスで固定してください。

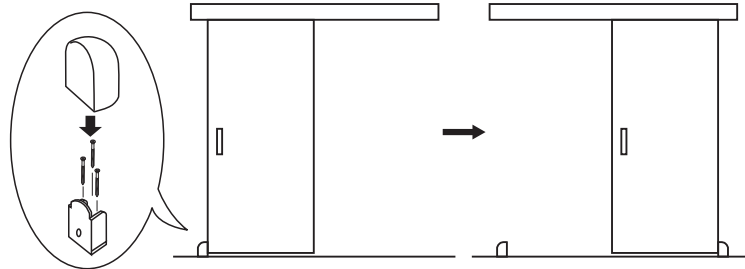
③ハンガーカバーを上レールにビスで固定してください。
(ワッシャー→ビス→ビスキャップの順で固定)



《ゴム戸当りの取付け》

①戸当りを床面に取り付けてください。
付属の取付ビス(4×25)で3点固定した後、戸当りを付けてください。

②レールに取り付けたエンドストッパーの位置を必要に応じて調整してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
 - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
 - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
 - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

△ ご注意 △ ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。